



このまち思いエネルギー。

広島ガス

広島ガスCSR報告書 2021

Corporate Social Responsibility Report



持続可能な社会を私たちの手で……

このまち思いエネルギーを、
未来へ。

このまち思い SDGs 実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～

エネルギーの普及拡大・安定供給

基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給等を通じて、持続可能な社会に貢献します。



地域社会への貢献

広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって地域の皆さまと共に歩んでまいりました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献します。



環境保全

環境にやさしい天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や森林保全活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。



働きやすい社会のために

労働安全衛生の取り組みの充実を図り、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に力を入れています。



CONTENTS

CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方	2
TOP MESSAGE	3
経営理念体系	4

TOPICS

1 広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言	5
2 海田発電所 営業運転開始(海田バイオマスパワー(株))	6
3 新規事業の展開	6
4 廿日市工場 2020年度省エネ大賞 「省エネルギーセンター会長賞」受賞	7
5 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大	7
6 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み	8

経営分野

広島ガスグループの 「2050年カーボンニュートラル」への取り組み	9
都市ガス事業フロー、供給区域と体制	11
都市ガスの安定供給に向けた取り組み	13
お客さまの安心・安全に向けた取り組み	14
防災対策	15
広島ガスグループの経営体制	17
中期経営計画	19
連結財務データ	21

環境分野

環境保全活動の基本的な考え方	25
1 お客さま先での環境負荷の低減	27
2 事業活動における環境負荷の低減	29
3 地域環境保全への貢献	32
環境負荷低減フロー(2020年度実績)	33
環境会計	34

社会分野

地域社会との関わり (芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援)	35
情報発信・お客さま満足度向上の取り組み	38
求める人材像 「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」	39
働きやすい職場環境をめざして	40
労働安全衛生の取り組み	41

CSR報告書2021によせて	42
広島ガスの概要	43
広島ガスグループの概要	44

CSR活動に対する 広島ガスグループの基本的な考え方

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的、かつ安心して安全にお使いいただくという、社会的責任の高い事業を行っています。その事業遂行そのものが、大きな「社会的責任」であり、事業活動を通じてSDGsの達成に幅広く貢献したいと考えています。

今後も、持続可能な社会の実現に向け、ガス体エネルギーの普及拡大・高度利用を推進するとともに、2050年カーボンニュートラルを見据えた新たな事業の展開に挑戦していきます。また、社会貢献活動や、コーポレート・ガバナンスの充実など、ESG(環境、社会、ガバナンス)を意識した経営を通じて、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選択され続ける企業グループをめざします。

広島ガスCSR報告書2021

発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)をはたしてきました。近年は、CSRを一つの指標として企業を評価するなど、CSR活動の重要度は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度からこれらの活動内容を経営分野と環境分野の両面から開示することを目的に、報告書を発行してきました。その後、2005年度から、「CSR報告書」として「経営」、「環境」、「社会」の3分野で構成しています。

また、SDGsに関連する広島ガスの取り組みについて、該当するSDGsのアイコンを記載しています。

【報告対象】

【範囲】 広島ガスおよびその関係会社からなる「広島ガスグループ」
【期間】 2020年4月から2021年3月までの活動(一部、2021年度の実績を含む)。本誌電子版および広島ガスグループ(主要子会社)の環境データをWebで公開しています。
(https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/library/library_05.html)

【参考ガイドライン】

○環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」



代表取締役社長 社長執行役員

松藤 研介

広島ガスは1909年の創業以来、110年以上にわたり地域に根差したエネルギー会社として、地域の皆さまに支えられて発展してまいりました。

広島ガスグループがはたすべきCSR(企業の社会的責任)とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことと考えております。

CSRには「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。経営的側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応しうる経営計画の策定・実施を、環境的側面では、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大などの事業活動を、社会的側面では、社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しております。

私たちを取り巻く環境は、ガス・電力市場の小売全面自由化に伴う事業者間競争の進展に加え、2050年までに脱炭素社会の実現をめざす政府方針が示され、日本ガス協会からは「カーボンニュートラルチャレンジ2050」が公表されるなど、新たな転換期を迎えております。

こうした中、広島ガスグループは、2018年10月に策定した「広島ガスグループ2030年ビジョン」の実現に向けて、現在の「脱炭素化の潮流」を踏まえた取り組みをさらに強化し、諸施策を展開しております。

2020年10月には、「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～」を策定しました。2030年ビジョン達成につながる事業活動と、国連で2030年までの目標として採択されたSDGsを「共通の目標」と捉え、これまで展開してきたCSRに関わる活動などを、SDGsの取り組みと一本化し、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

広島ガスグループはこれまで、環境負荷の低減に向けた取り組みとして、コージェネレーションシステムの普及拡大、さらには、バイオマス混焼発電である海田発電所や小水力発電である志和掘発電所の営業運転を今年度開始するなど、再生可能エネルギーの普及拡大や里山再生事業などを通じて、省エネ・省CO₂への貢献に向けた事業展開を進めてまいりました。今後も、「徹底した天然ガスシフト・天然ガスの高度利用」により、2050年を見据えた「累積CO₂の低減」に邁進するとともに、「脱炭素社会の実現に貢献する事業展開」への挑戦を通じて、地域社会と共に発展する企業グループをめざしてまいります。

また、私たち地域のエネルギー供給を担う事業者に課せられた使命である、「保安の維持・向上と安定供給の確保」にも引き続き注力してまいります。インフラ整備や現場力の向上を通じて、ハード・ソフト両面からより一層の保安に対する取り組みを進め、お客さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

地域に根差した広島ガスグループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。本業であるエネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのつながりやふれあいを大切にし、地域の芸術文化、教育、スポーツ、環境分野などにおける社会貢献活動、情報発信に取り組んでまいります。こうしたESG経営を意識した不断の取り組みを強化し続けていくことで、SDGsに掲げられた目標の達成につなげてまいります。

引き続きグループ役職員一丸となって、業務に精励し、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

2021年7月



広島ガスグループの「2050年カーボンニュートラル」への取り組み

広島ガスグループは、これまでにESG関連事業（環境および社会貢献の取り組み）を進めてきました。

今後も、LPガス部門とも連携を取りながら、さらなる取り組み領域の拡大をめざし、「脱炭素社会の実現」に貢献する事業を積極的に展開していくことで、グループ一丸となってSDGsの達成、さらにその先の、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献できるよう、取り組んでまいります。

広島ガスグループの「2050年カーボンニュートラル」への取り組み ～脱炭素社会の実現に貢献する事業展開への挑戦～

- 「徹底した天然ガスシフト・天然ガスの高度利用」により、2050年を見据えて「累積CO2の低減」に邁進します。
- 「脱炭素社会の実現に貢献する事業展開」への挑戦を通じて、地域社会と共に発展する企業グループをめざします。

1 広島ガスグループ このまち思い SDGs 実行宣言

2020年10月30日、「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～」を策定しました。

広島ガスグループは、「広島ガスグループ2030年ビジョン」達成につながる事業活動と、国連で2030年までの目標として採択されたSDGsを共通の目標ととらえ、これまでのCSR活動と世界的な潮流であるESG経営・SDGsの取り組みを一本化して推し進めてまいります。これまで展開してきたESGを意識した取り組みを強化し続けるとともに、取り組み領域の拡大をめざし、新たな事業を積極的に展開していくことで、グループ一丸となってSDGsの達成に貢献し、さらなる企業成長につなげてまいります。



記者会見 (SDGs実行宣言公表)

広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、実効性のあるコーポレート・ガバナンスに取り組み、国連が提唱する「持続可能な開発目標」に賛同し、「このまち思いエネルギー。」という企業スローガンのもと、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2020年10月30日
広島ガスグループ



「このまち思い SDGs実行宣言」ポスター

広島ガスグループ SDGs重点取り組み項目

エネルギーの普及拡大・安定供給

基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給などを通じて、持続可能な社会に貢献してまいります。

【主な取り組み項目】

- 1 ガス体エネルギー(天然ガス、LPガス)の普及拡大と高効率利用の推進
- 2 ライフラインであるガス導管を通じた安定供給の強化
- 3 保安レベルの向上、災害対策およびレジリエンス機能の強化
- 4 デジタル技術を活用したお客さまサービスの充実
- 5 新規事業の展開



▲家庭用燃料電池「エネファーム」



▲ガスコージェネレーションシステム



地域社会への貢献

広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって、地域の皆さまと共に歩んでまいりました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。

【主な取り組み項目】

- 1 地域の文化・芸術、スポーツ振興への貢献
- 2 防災教育・次世代教育・子ども食堂などの取り組みの推進
- 3 国際平和都市広島への貢献



▲バドミントン部



▲スキー部



▲防災教室 ▲このまち思い えがお食堂

環境保全

環境にやさしい天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や森林保全活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【主な取り組み項目】

- 1 再生可能エネルギーの普及拡大
- 2 地域環境保全活動の推進
- 3 森林保全活動の推進



▲海田バイオマス混焼発電事業



▲小水力発電事業への参入



▲里山再生事業への着手



▲このまち思い 広島ガスの森



働きやすい社会のために

労働安全衛生の取り組みの充実を図り、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に力を入れてまいります。

【主な取り組み項目】

- 1 働き方改革の推進
- 2 労働安全衛生体制の充実
- 3 人材育成への取り組み



▲保安技能大会



2 海田発電所 営業運転開始(海田バイオマスパワー(株))

中国電力(株)との共同出資会社である海田バイオマスパワー(株)は、2021年4月1日から海田発電所の営業運転を開始しました。

本発電所は、再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT制度)を活用し、広島県内の林地残材などの未利用木材や、海外の木質系バイオマスなどの燃料を80%程度利用し、年間で約8億kWhの発電を予定しております。

本発電所での発電事業を通じて、広島県の林業振興などの地域活性化に取り組むとともに、再生可能エネルギーの普及拡大に貢献できるよう努めてまいります。



海田発電所

【海田発電所の概要】

(2021年7月1日現在)

所在地	広島県安芸郡海田町明神町2番118号
発電出力	11万2千kW(発電端出力)
発電方式	バイオマス混焼発電 ※混焼比率(熱量ベース) バイオマス80%・石炭20%
ボイラ型式	循環流動層ボイラ
想定年間発電量	約8億kWh
燃料	木質系バイオマス(広島県内未利用木材、ホワイトペレット、パーム椰子殻)、石炭、天然ガス(助燃・バックアップ)



管理事務所・タービン棟・ボイラ



中央制御室



広島県内未利用木材(木質チップ)



燃料輸送用内航船「海米丸」

3 新規事業の展開

■小水力発電事業

再生可能エネルギーの普及拡大に向けた取り組みの一つとして、2020年10月に志和堀電化農業協同組合から志和堀発電所(東広島市志和町志和堀、最大出力95kW)を取得し、小水力発電事業に参入しました。

設備の修繕や試運転を行った後、2021年6月から再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT制度)を活用し、営業運転を開始しました。年間で約54万kWhの発電を予定しています。



水車および発電機

■里山再生事業

CO₂削減への貢献、林業振興による中山間地域の活性化を実現するため、里山再生事業に取り組んでいます。

2020年7月に、林野庁と天皇陛下御即位記念分収造林契約を締結し、2020年11月には、広島県神石高原町の星居山(ほしのこやま)に「このまち思い 広島ガス神石高原の森」を開設しました。また、同月、広島県における計画的な森林の伐採、植林、保育により里山を再生し、環境保全に取り組むことを目的とした協定を、広島県森林組合連合会と締結しました。

今後も、林野庁や森林組合との連携を強化し、里山の再生に取り組んでまいります。



広島県森林組合連合会との協定締結

■広島国際空港(株)への出資

三井不動産(株)を代表企業として、当社を含む16社が参画するコンソーシアムは、2020年11月に特別目的会社である広島国際空港(株)を設立しました。広島国際空港(株)は、2021年2月から空港ビルなどの運営、2021年7月から滑走路などの運営を手掛け、中四国地域の航空拠点をめざしています。

当社は、広島国際空港(株)への出資を通じて、広島空港および周辺地域の活性化を推進してまいります。



広島空港

4 廿日市工場 2020年度省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」受賞

2021年1月、廿日市工場は、「一般廃棄物処理施設からの未利用熱を活用した省エネの取り組み」に関して、2020年度省エネ大賞(省エネ事例部門)の「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。

省エネ大賞は、事業者や事業場などにおいて実施した他者の模範となる優れた省エネの取り組みや、省エネルギー性に優れた製品ならびにビジネスモデルを表彰するもので、(一財)省エネルギーセンターが経済産業省の後援を受け、主催されています。

今回の受賞は、廿日市工場に隣接する一般廃棄物処理施設(はつかいちエネルギーグリーンセンター)においてごみ処理発電時に発生する未利用の排熱を、廿日市工場が温水として受け入れ、LNGを気化させるための熱源として利用することで、大幅な省エネ(燃料ガス削減率:前年度比59.6%)・省CO₂(削減率:前年度比33.2%、削減量:6,848t-CO₂)を実

現した点が高く評価されたものです。

今後も、エネルギーの高度利用によって、環境負荷低減につながる事業活動を推進してまいります。



※P29もご参照ください。

5 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大

エネファームの普及拡大を通じて、環境にやさしい天然ガスのさらなる高効率利用に努めてまいります。

中四国地方初! 自立運転機能付きエネファームtype S 大型分譲住宅地の全戸に標準採用

「自立運転機能付きエネファームtype S」が、大型分譲住宅地「SATONOWA ヴェルコート牛田早稲田」(トータグループ)の全131戸に標準採用されました。この住宅地のコンセプトは、「緑豊かで人の交流を育み、愛着を持って帰りたいとなる現代の「里」」。環境にやさしく経済性にも優れ、災害時にも安心な自立運転機能付きエネファームtype Sは、同じく標準採用された浴室暖房乾燥機や最新ガスコンロとともに、新しい「里」の笑顔を支えます。



ヴェルコート牛田早稲田

環境性 環境にやさしいエネファーム

天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくるエネファームは、従来型給湯器と比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t~2.1t抑える、エネルギー効率の高い最先端の発電・給湯暖房システムです。

今後も一層エネファームの普及拡大に取り組み、お客さまの快適な暮らしと省エネ・省CO₂に貢献していきます。

防災性 停電時自立運転機能による安心感

災害時に停電が起きた場合も、エネファームが発電中であれば、照明や通信機器が使える電力を確保*でき、災害時にも、エネファームにより給湯や携帯電話の充電が可能になるなど、生活環境の維持に大きく貢献します。

*自立運転機能付き機器に限る。

【自治体エネファームの補助金】

地方自治体	広島市	呉市	三原市	東広島市	廿日市市
補助金額	3万円/台 × 180台	3万円/台 × 30台	7万円/台(予算枠294万円) ※蓄電池などを含む	8万円/台(予算枠1,560万円) ※蓄電池などを含む	7万円/台(予算枠300万円) ※蓄電池などを含む
募集期間	2021年4月14日~ 2022年1月31日	2021年4月9日~ 2022年2月18日	2021年5月6日~ 2022年2月28日	2021年4月1日~ 2022年2月28日	2021年4月16日~ 2022年1月31日

*詳細は各市のホームページをご参照ください。*補助台数、予算総額に達した場合は、募集締め切りとなります。

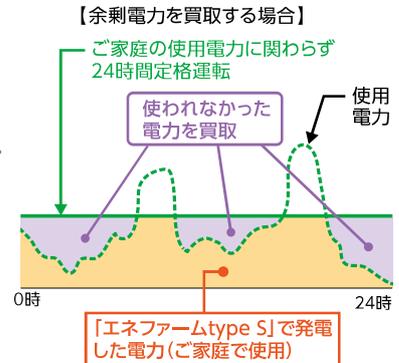
経済性 家庭用ガスコージェネレーションシステム契約

エネファームをご購入のお客さまに「家庭用ガスコージェネレーションシステム契約」の料金メニューを設け、一般料金に比べ安価なランニングコストで都市ガスをご使用いただいています。

発電余剰電力の買取

2019年4月から、「エネファームtype S」の発電余剰電力の買取を開始しました。

使用電力に関わらず、24時間定格運転(700W)を行います。使用電力が少ない時間帯は、発電した電力がご家庭の使用電力を上回ります。発電した電力のうち、ご家庭で使われなかった電力は、広島ガスが買い取ります。



6 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

世界中で新型コロナウイルス感染症が拡大している影響を受け、広島ガスグループはエネルギーの安定供給と保安の確保という使命を確実に遂行するため、事業継続と役職員の安全確保に最大限努めるべく、各種感染予防対策を実施しています。また、影響を受けている地域の皆さまとともに乗り越えていくため、さまざまな取り組みを実施しています。今後も日々変化する状況に鑑みて、適切に対応してまいります。

事業継続と役職員の安全確保の両立

出社前の検温、マスク着用、手指の消毒など基本的な感染症対策を徹底し、在宅勤務や時差勤務を積極的に活用するとともに、Web会議システムなどのIT環境を整備しています。また、原料調達、製造、供給、緊急保安などの業務においては、業務従事者以外の入室制限などの感染予防対策を実施しています。さらに、役職員が罹患した場合に備えて、勤務場所の分散化や勤務体制の組み替えなども行うことで、万一の場合にも事業継続できる体制を整えています。



Web会議システムの活用



勤務場所の分散化

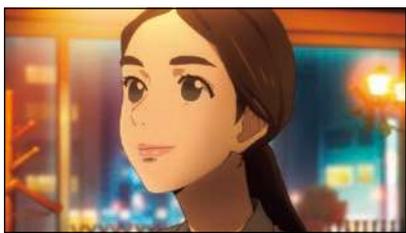


ビニールカーテンの設置

地域の皆さまへの支援

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた方々への支援をはじめ、「おうち時間」を楽しく豊かに過ごしていただくための情報の発信など、さまざまな取り組みを行っています。

- 「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたガス料金の特別措置」として、ガス料金の支払い期限を延長しました。
- 大きな影響を受けている飲食店などのお客さまを応援するため、広島ガスWeb会員サイト「MY HIROSHIMA GAS」では、「このまち応援企画」として、おうちで楽しめるさまざまな地元企業の商品の抽選プレゼント企画を随時実施しています。
- 新型コロナウイルスからの復興に向けた期待感を高め、地域活性化を願う取り組みとして、「このまち思いエールプロジェクト」を実施し、「あの店で会おうよ」という言葉と、飲食店にまつわるこのまちの皆さまの思いのこもった写真をSNSで共有していただくフォトキャンペーンなどを通じて、将来を含めた飲食店の利用を促す支援を行いました。



エールプロジェクトCM「始める篇」



エールプロジェクトCM「あの店で会おうよ篇」



エールプロジェクト専用Webサイト

- 当社ホームページやSNS（フェイスブック、インスタグラム）で、充実した“おうち時間”に役立てていただくため、ガスコンロの機能を活かした簡単料理レシピや、当社バドミントン部とスキー部によるトレーニング動画などを発信しています。
- Web上で購入を検討したいという新たなお客さまのニーズにお応えすることを目的として、インターネットでのガス機器受付サイト「広島ガスWEBモール」を開設しました。（広島ガスグループの都市ガス、プロパンガスをご利用のお客さま限定のサービスです。）
- 医療機関への支援として、飲食物などを寄贈しました。



当社ホームページ「楽しいお料理レシピ」



広島ガスWEBモール



医療機関への寄贈